

I 令和2年度事業報告書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

当財団は、県民が主体となった地域社会の形成を促進するため、NPOやボランティア、生涯学習をはじめとする県民の諸活動の支援、高齢者の生きがいづくりや地域参加の促進及び就業機会の提供に関する事業を行い、あらゆる世代が共に支え合う豊かな埼玉の発展に寄与するという社会的使命を有している。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、施設の休館・利用制限や講座・イベントの中止・規模縮小などを余儀なくされたが、感染防止対策を徹底するとともに、事業の一部をオンラインで実施するなど、事業の継続に努めた。

県民活動の支援に関する事業では、NPOの運営やボランティア養成に関する講座を実施するとともに、「彩の国市民活動サポートセンター」を運営し、県民への情報提供や市町サポートセンターのネットワークの強化を図った。

また、多様な学習ニーズに応える事業を実施し、学習機会を提供するとともに、生涯学習の成果を地域に還元できるようボランティア講師を養成した。

さらに、県民活動総合センターが様々な人々の活動の場として利用いただけるよう、感染防止対策を徹底の上、施設を提供した。

高齢者の生きがいづくりや地域参加の促進を図る事業では、人生100年時代を見据え、シニアの「学び直し」と「再チャレンジ」を応援する場として、彩の国いきがい大学を刷新し、新たに「埼玉未来大学」を開講した。

また、高齢者の健康増進や介護予防に役立つセミナーを開催した。

就労意欲のある高齢者の就業や能力の活用促進に関する事業では、高齢者の就労支援の拠点である地域のシルバー人材センターの運営基盤の強化のため、事業や組織の運営に係る助言、法律等の相談や適正な経理事務に向けた会計監査などを行った。

また、労働者派遣事業ではシルバー人材センター会員の拡大のため、就労を希望する高齢者を対象に技能講習や就業体験を実施するとともに、多様な就労機会を提供するため、事務系職種や介護等の人手不足分野を中心に派遣先企業の開拓に取り組んだ。

I - 1 事業の概要

1 県民活動の支援に関する事業

(1) 県民活動支援のための講座の開催

ア NPO活動や市民活動を支援するため、NPOの運営や地域デビューを進める心構えを学ぶ講座を実施した。

イ 仕事や生涯学習を通して習得した知識や技能を生かし、地域で活躍できるようボランティア講師を養成する講座を実施した。また、ボランティア講師としての活動の場を提供するとともに、スキルアップのためのセミナー等を実施した。

ウ 県民の多様な学習要求に応えるため、情報化に対応する講座、教養を深め学びを生かす講座、現代的課題に対応するための講座など実施した。

(2) 団体活動支援事業

県民活動団体の活動が一層活発なものになるよう、コミュニティシネマに取り組むNPOや子育て支援を行うボランティア団体等と協働で事業を実施した。

(3) 彩の国市民活動サポートセンターの運営

NPO活動や市民活動に関する情報提供・相談を行うとともに、「埼玉市民活動サポートセンターネットワーク」事務局として市町の市民活動サポートセンター職員を対象にオンラインで研修会を実施し、関係団体とのネットワークの強化を図った。

(4) 埼玉県県民活動総合センターの運営

新型コロナウイルス感染症感染防止対策を徹底し、施設を適切に維持管理し、利用に供した。また、開館30周年記念事業として、ボランティアに関する講演会を開催するとともに、コロナ禍において工夫しながら活動を継続しているNPOを紹介する動画を作成した。

2 高齢者の生きがいづくりや地域参加及び地域貢献の促進に関する事業

(1) 埼玉未来大学の運営

高齢者の元気・自立を支援し、地域の担い手となるシニアを育成するため、従前の彩の国いきがい大学を見直し、新たに埼玉未来大学を開講

した。

ア ライフデザイン科

実際に身体を動かしたり、楽しく健康習慣が身に付けられるプログラムを実施しているほか、地域デビューやSNSの活用などシニアが元気に活躍するための学習を実施した。

前期は新型コロナウイルスの影響により中止となったため、後期は6学園を開講した。

イ 地域創造科

NPOの立ち上げと運営を学び、社会参加に繋げる「アクティブコース」及び地域の課題をビジネス手法で解決するソーシャルビジネスの起業と経営を学ぶ「地域ビジネスコース」を開講した。

また、選択講座として、こどもの居場所づくりやコミュニティカフェ開設等の専門講座を実施した。

(2) 高齢者いきがい支援事業の実施

高齢者の健康づくりを支援するため、専門家による健康増進に関するセミナーを開催したほか、介護予防のためのシニア向けレクリエーション実践者セミナーを開催した。

(3) 情報誌発行

アクティブシニアのための情報誌「NEXT!」を4回発行し、高齢者の生きがい、健康づくり及び社会参加に役立つ情報を提供した。

(4) いきいき創作展の開催

高齢者の日頃の文化創作活動の成果を発表する場として、絵画や写真などの作品展示をオンラインで開催した。

(5) 全国健康福祉祭埼玉県選手団の派遣

高齢者の国体と呼ばれる第33回全国健康福祉祭ぎふ大会（ねんりんピック岐阜2020）は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から1年延期となった。

3 就労意欲のある高齢者の雇用・就業及び能力活用の促進

(1) 就業機会の提供

高齢者に多様な就業機会を提供する労働者派遣事業では、適切な事業運営のため派遣実施事務所との運営会議や実務者研修を開催し、情報の共有化と担当職員の資質向上を図った。

また、厚生労働省からの委託事業として、シルバー人材センター会員に登録を希望する人を対象に、現場での就業体験や技能講習を実施し、会員の拡大、技能の向上を進めた。

(2) シルバー人材センター・高齢者事業団の支援

埼玉県から指定を受けている「埼玉県シルバー人材センター連合」として、県内のシルバー人材センター・高齢者事業団の安全で適正な業務運営を支援するため、役職員の研修や法律等の相談などを行った。

また、会員の就業を促進するため、情報誌等により、会員募集や仕事募集の広報を行った。

(3) シルバー・ワークステーションの運営

派遣先企業を開拓するため、事務系職種や介護、保育、スーパーマーケット等の人手不足分野を中心に企業への営業活動を行った。

また、多様な働き方を紹介するため、派遣就業事例集を発行し、県が認定するシニア活躍推進宣言企業等へ配布した。

令和2年度 事業報告書

県民活動や生涯学習の支援、高齢者の社会参加の推進、高齢者の就業促進に資する事業を実施しました。

1 県民活動の支援に関する事業

実施事業	R2年度(計画)		R2年度(実績)	
	回数等	人数等	回数等	人数等
(1) 県民活動支援のための講座開催				
ア NPO活動などの県民活動を支援する事業 県民活動を支援するため、NPOの運営に必要な知識を学ぶ講座や、NPO活動・市民活動を体験する講座、地域づくりの手法を学ぶ講座等を実施した。 ▽NPO基礎講座 ▽シニア共助担い手マッチング事業	11回	560人	8回	355人
イ ボランティア講師を養成する講座 仕事や生涯学習の成果として培った知識、技能を生かし、生涯学習ボランティアとして地域で活躍できるよう、ボランティア講師を養成し、資質の向上を図るための講座等を実施した。 ▽市民講師塾 ▽まなびあいセミナー ▽市民講師協働講座 ▽市民講師スキルアップセミナー ▽市民講師交流会 ▽市民講師活動支援事業	39回	760人	19回	395人
ウ いきいき生活講座 県民の多様な学習要求に応えるため、ITや文化教養、趣味に関する講座を実施した。 ▽心を豊かにする公演事業 ▽情報化対応力支援講座 ▽学びを深め学びを活かす講座 ▽暮らし創り応援講座 ▽現代的課題講座 ▽地域探訪講座	104回	4,980人	29回	949人
(2) 団体活動支援事業				
ア 県民活動団体支援事業 活動団体と協働で事業を実施するなど、活動団体の活性化を支援した。 ▽NPO協働事業「けんかつ名作シネマ館」 ▽登録団体支援事業	16回	640人	11回	304人
イ 次世代育成支援事業 子育て支援団体等と連携して、親子が気軽に参加できる交流会や子ども向け遊び体験学習等を実施した。 ▽子育て支援団体協働事業	10回	300人	10回	166人
(3) 彩の国市民活動サポートセンターの運営	通年	—	通年	—
NPO活動、市民活動を支援するための相談、情報提供等を実施するとともに、県内市町の市民活動サポートセンター関係者を対象に、情報・意見交換、研修会を実施した。 ▽NPO・ボランティア相談コーナーの運営 ▽NPO税務会計相談会 ▽埼玉市民活動サポートセンターネットワークの運営				
(4) 情報センターの運営	通年	—	通年	—
県民活動に関する図書・資料を収集・提供するとともに、生涯学習・県民活動に関する企画展示を実施した。				
(5) けんかつグランドフェスタの開催	1回	20,000人	1回	187人
彩の国いきいきフェスティバルとして開催していた県民活動団体の発表・交流の場、全館イベントと併せて、センター30周年記念事業を「けんかつグランドフェスタ」として開催する予定であったが、コロナ禍により事業を見直し、ボランティアに関する講演会や動画作成・配信を行った。				

2 高齢者の生きがいづくりや地域参加及び地域貢献の促進に関する事業

実施事業	R2年度(計画)		R2年度(実績)	
	回数等	人数等	回数等	人数等
<p>(1) 埼玉未来大学の運営 高齢者の元気・自立を支援し、地域の担い手となるシニアを育成するため、彩の国いきがい大学を刷新し、新たに「埼玉未来大学」を開講した。</p> <p>新 ア ライフデザイン科 健康長寿の実現と社会参加の促進を図ることを目的に、高齢者のニーズに沿ったカリキュラムやシニアの社会参加意識の醸成を図る体験型講座が特徴のライフデザイン科を運営した。 ▽前期課程【4～9月】4学園(春日部・川越・熊谷・伊奈) ▽後期課程【10～3月】5学園(春日部・川越・川口・嵐山・伊奈)</p> <p>新 イ 地域創造科 志あるシニアを徹底支援するとともに、地域の担い手育成を目的に、社会デビューに直結する高度で専門的なカリキュラムが特徴の地域創造科を運営した。 ▽アクティブコース ▽地域ビジネスコース ▽選択講座(レクリエーション介護士2級講座、コミュニティカフェ開設講座、地域トラベルサポーター養成講座、こどもの居場所づくり大学)</p>	9学園	940人	6学園	317人
			前期課程:すべて中止 後期課程:熊谷を追加して6学園で実施	
	2コース 4講座	365人	2コース 4講座	159人
<p>(2) 高齢者いきがい支援事業の運営</p> <p>ア 健康セミナー 高齢者の健康づくりを支援するため、専門家による健康増進に関するセミナーを開催した。</p> <p>イ 介護予防のためのシニアレクリエーション実践者セミナー 高齢者の体力や認知能力の維持に係る職業や仕事をしている方を対象に、効果的な運動やレクリエーションの手法を学ぶ機会を提供し、地域での指導者を養成した。</p>	1回	80人	1回	99人
	4回	160人	4回	136人
<p>(3) 情報誌発行 高齢者の生きがい、健康づくり及び社会参加活動に役立つ情報を提供する情報誌を発行した。</p>	4回	—	4回	—
<p>(4) いきいき創作展の開催 絵画や写真など、高齢者の日頃の文化創作活動の成果を発表する場を提供した。</p>	4日間	—	オンライン開催(43日間)	
<p>(5) 全国健康福祉祭埼玉県選手団の派遣 高齢者の国体と呼ばれる第33回全国健康福祉祭(ねんりんピック)ぎふ大会に埼玉県選手団を派遣する。(コロナ禍により1年延期)</p>	4日間	136人	(開催延期)	

3 就労意欲のある高齢者の雇用・就業及び能力活用の促進に関する事業

実施事業	R2年度(計画)		R2年度(実績)	
	回数等	人数等	回数等	人数等
(1)就業機会の提供				
ア 活動拠点の支援等 ▽シルバー人材センター事業を展開・拡充するための情報提供や助言を行った。 ▽活動拠点に対し、国庫補助金(連合交付金)を交付した。	通年 58団体	— 781,658千円	通年 58団体	— 786,217千円
イ 広域的受注調整事業 就業場所が複数地域に渡る仕事の依頼に対し、各活動拠点と調整を図り、就業機会の確保につなげた。	通年	—	通年	—
ウ 福祉・家事援助サービス推進事業 本事業に従事するコーディネーターや会員の養成や育成を図った。	1回	—	1回	—
エ 労働者派遣事業(シルバー派遣事業)の実施 請負になじまない仕事を新たな就業機会として確保するため、シルバー派遣事業を行った。	通年	—	通年	—
▽運営会議	5回	—	2回	—
▽実務者研修	2回	—	2回	—
▽会員研修	8回	—	9回	—
▽派遣システム研修	2回	—	2回	—
▽衛生管理者試験対策研修	1回	—	1回	—
オ 有料職業紹介事業の実施 雇用を希望する高齢者に職業を斡旋した。	通年	—	通年	—
カ 高齢者活躍人材確保育成事業 シルバー人材センターの理解を深めてもらうことで、新規会員の獲得やシルバーを利用する企業の増加を図った。	通年	—	通年	—
▽広報紙やメディア等による周知・広報	60回	—	37回	—
▽清掃や障子張り替え等の就業体験	16回	—	16回	—
▽保育や介護等の技能講習				
(2)シルバー人材センター・高齢者事業団の支援				
ア 各シルバー人材センターの役職員に対する研修 法人運営やシルバー人材センター業務に関する知識、企画力の向上を図るため必要な研修を行った。	20回	—	15回	—
▽基本研修、専門研修、交流研修 ▽フレイル予防研修				
イ 団体運営、事業運営、会計処理等に関する相談 専門家による相談窓口を設置し、業務上の問題に対応した。	20回	—	19回	—
▽巡回相談	通年	—	通年	—
▽弁護士相談、会計相談、社会保険労務士相談、税理士巡回相談、シルバー派遣事業相談 相談員による個別相談窓口の設置				
ウ 会員、就業機会の拡大に向けた普及啓発 財団広報媒体やシルバー人材センター連合のホームページ等を活用し、会員募集や仕事募集の広報を行った。	4回	—	4回	—
▽情報誌発行	12回	—	12回	—
▽広報紙発行	10月	—	1月～3月	—
▽普及啓発月間	通年	—	通年	—
▽シルバー人材センターイメージアップの推進	通年	—	通年	—
新 ▽埼玉未来大学学生への入会促進				
エ 安全・適正就業会議、研修、大会の開催 就業中の事故防止のため、職員や会員を対象とした研修や安全指導を実施した。	6回	—	6回	—
▽安全・適正就業推進会議、安全・適正就業研修、安全就業推進大会、安全指導				
オ シルバー人材センター等運営資金貸付事業 運営資金に余裕がないセンターに対し、短期間の貸し付けを行った。	22団体	140,000千円	21団体	131,000千円
(3)シルバー・ワークステーション運営事業 介護や保育、小売りなどの人手不足分野を中心に派遣先を開拓し、シニアの働く場の拡大を図った。	通年	—	通年	—
(4)諸会議の開催 シルバー人材センター連合の運営上、必要な会議を開催した。	6回	—	6回	—
▽連合会議、連合理事会、事務局長会議、ブロック幹事会				

I-2 理事会及び評議員会の開催

1 理事会の開催

(1) 第1回理事会

※ 電話会議にて実施

ア 日 時 令和2年5月28日(木)
午前10時00分から

イ 場 所 埼玉県県民活動総合センター 大会議室

ウ 出席者数 理事 7人
監事 2人

エ 議 案 令和元年度事業報告及び決算報告について
オ 報 告 中期経営計画(令和元年度～令和3年度)の達成状況について
代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況報告について
評議員の退任について
評議員の選任について
評議員会の書面開催について

(2) 第2回理事会

※ 電話会議にて実施

ア 日 時 令和3年3月18日(木)
午後2時00分から

イ 場 所 埼玉県県民活動総合センター 大会議室

ウ 出席者数 理事 7人
監事 1人

エ 議 案 令和3年度事業計画及び収支予算について
オ 報 告 令和2年度事業実施状況報告について
令和3年度組織について
代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況報告について

(3) 第3回理事会

公益財団法人いきいき埼玉定款第34条2項の規定に基づく書面表決
令和3年3月31日(水)

ア 議 案 代表理事の選定について
業務執行理事の選定について

2 評議員会の開催

(1) 第1回評議員会

公益財団法人いきいき埼玉定款第20条第4項の規定に基づく書面表決
令和2年5月15日（金）

ア 議 案 評議員の選任について

イ 報 告 評議員の辞任について

(2) 第2回評議員会

公益財団法人いきいき埼玉定款第20条第4項の規定に基づく書面表決
令和2年6月8日（月）

ア 議 案 令和元年度決算報告について

イ 報 告 令和元年度事業報告について

中期経営計画（令和元年度～令和3年度）の達成状況について

(3) 第3回評議員会

公益財団法人いきいき埼玉定款第20条第4項の規定に基づく書面表決
令和3年3月26日（金）

ア 議 案 令和3年度事業計画及び収支予算について

イ 報 告 令和3年度組織について

(4) 第4回評議員会

公益財団法人いきいき埼玉定款第20条第4項の規定に基づく書面表決
令和3年3月29日（月）

ア 議 案 理事の選任について

I - 3 役職員等

1 役員等の異動状況

(1) 役員 の 状況 令和3年4月1日

理事長	永沢 映	非常勤	R1. 6. 21～	公益財団法人いきいき埼玉理事長 特定非営利活動法人コミュニティビジ ネスサポートセンター代表理事
副理事長	福田 哲也	常勤	R3. 3. 29～	公益財団法人いきいき埼玉副理事長
業務執行 理事	安部 里佳	常勤	R3. 3. 29～	公益財団法人いきいき埼玉業務執行理事
理事	佐伯 鋼兵	非常勤	R1. 6. 21～	公益社団法人さいたま市シルバー人材センター 理事長
理事	落合 一弘	非常勤	R1. 6. 21～	公益財団法人埼玉県老人クラブ連合会 常務理事兼事務局長
理事	恩田 徹男	非常勤	R1. 6. 21～	元埼玉県教育局生涯学習部長
理事	上岡 悦子	非常勤	R1. 6. 21～	彩の国コミュニティ協議会副会長
理事	野島 正也	非常勤	R1. 6. 21～	学校法人文教大学学園理事長

※理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までである。ただし、補欠として選任された理事の任期は、前任者の任期の満了する時までとなる。

(以上8名)

監事	石川 博康	非常勤	H30. 3. 29～	弁護士
監事	高島 誉章	非常勤	H29. 6. 16～	公認会計士

※監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までである。ただし、補欠として選任された監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとなる。

(以上2名)

(2) 評議員の状況 令和3年4月1日

評議員	田島 浩	非常勤	H30.5.25～	前埼玉県市長会常勤理事兼事務局長
評議員	富岡 茂雄	非常勤	H29.6.16～	埼玉県町村会常勤理事兼事務局長
評議員	新井 康裕	非常勤	H30.8.1～	株式会社武蔵野銀行地域サポート部長
評議員	石崎 篤史	非常勤	H30.3.29～	埼玉縣信用金庫人事部長
評議員	渡邊 哲	非常勤	R2.5.15～	埼玉新都市交通株式会社代表取締役常務
評議員	秋谷 明宣	非常勤	H30.5.25～	株式会社埼玉新聞社東京支社長
評議員	上木 雄二	非常勤	R2.5.15～	社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会副会長
評議員	大鹿 良夫	非常勤	H29.6.16～	一般社団法人埼玉県子ども会連合会会長
評議員	紫藤 健一	非常勤	H29.6.16～	日本ボーイスカウト埼玉県連盟副理事長
評議員	萩原 元昭	非常勤	H29.6.16～	群馬大学名誉教授

※評議員の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までである。ただし、補欠として選任された評議員の任期は、前任者の任期の満了する時までとなる。

(以上10名)

(3) 理事の退任 (令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

杉野 勝也 (令和3年3月31日付け)

田辺 勝広 (令和3年3月31日付け)

(4) 評議員の退任 (令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

山野 均 (令和3年3月31日付け)

加藤 和徳 (令和3年3月31日付け)

森田 純司 (令和3年3月31日付け)

野尻 一敏 (令和3年3月31日付け)

(5) 理事の新規選任 (令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

福田 哲也 (令和3年3月29日付け) 埼玉県危機管理防災部副部長

安部 里佳 (令和3年3月29日付け) 埼玉県県民生活部国際課副課長

※役職は就任時

(6) 評議員の新規選任 (令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

山野 均 (令和2年5月15日付け) 埼玉県県民生活部長

森田 純司 (令和2年5月15日付け) 埼玉県信用農業協同組合連合会総務部長

渡邊 哲 (令和2年5月15日付け) 埼玉新都市交通株式会社参与

野尻 一敏 (令和2年5月15日付け) 株式会社テレビ埼玉顧問

上木 雄二 (令和2年5月15日付け) 社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会副会長

※役職は就任時

2 役員数（令和3年3月31日現在）

項目	常勤	非常勤	計	備考
理事	2	8	10	県派遣4
監事	—	2	2	
計	2	10	12	県派遣4

（注）理事10のうち、理事長1、副理事長1、業務執行理事1

3 職員数（令和3年3月31日現在）

項目	人数	備考
事務局長、埼玉県県民活動総合センター所長（注1）	2	県派遣1
総務部長、管理部長、事業部長、企画幹、熊谷支所長、就業促進部長（注2）	5	県派遣2
課長	10	県派遣3
主査	4	
一般	22	県派遣4
小計（常勤職員計）	43	県派遣10
専門員（短時間勤務職員）	20	
合計	63	県派遣10

（注1）事務局長については、業務執行理事兼務

埼玉県県民活動総合センター所長については、事業部長兼務

（注2）企画幹については、未来大学課長兼務

I-4 事業報告の附属明細書

定款第9条第1項第2号の事業報告の附属明細書は、事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので作成しない。